

戦略的タイミングで暗殺された、公認の CIA・MI6 要員 だったナワリヌイ

明かに彼は、西側スパイによってロシアの刑務所で殺された

<http://stateofthenation.co/?p=211481>

February 16, 2024

SOTN



NAVALNY DIES IN PRISON **PUTIN'S MOST ARDENT** **CRITIC** ***DRUDGE REPORT***

SOTN 独占記事：

最初に言っておくと、Alexei Navalny が、長い間、CIA の専属要員 (asset) であり MI6 のスパイであったことは、グローバルな情報共同体全体を通じて、共有の知識であった。

今あなた方は、西側からの暴力のフェイク・ニュースを聞いておられるだろうから、彼らがあなたに隠している情報を覗いておくことにしよう。ナワリヌイはテロリストである。彼は MI6 とともに、ロシアをひっくり返すカラー革命を、計画していたところ

を捕まった。彼は「政治的な野党」などではない。彼は外国の情報専属要員、つまりスパイだった。

下を見れば、ナワリヌイが、英国のMI6 エージェント James William Thomas Ford とともに、氏名不詳の億万長者の資金によって、「大衆抗議運動、市民的イニシャティブ、プロパガンダ、エリートとの体制派工作」の計画を、議論しているのがわかるだろう。

ナワリヌイは西側のフロントマンとして、ロシアを内部から乗っ取ろうとしていた。これは彼らがウクライナを乗っ取るために使った、まったく同じ手引書だ。ナワリヌイは Deep State の専属要員でもあり、そのような者として扱われている。敵意ある外国の活動家。西側のために主権国家をひっくり返すこと狙う者。裏切りと扇動…。だから西側のフェイク暴力や、悲劇のヒーロー扱いはもういい加減にしてほしい。あたかも、プーチンが不当に政敵を投獄し殺したかのように…。その一方で、トランプへの魔女狩りは8年目を迎えており、またジュリアン・アサンジはいまだに牢獄で拷問を受けている…

バイデンと主流メディアは、すでに、この事情を最大限に利用しようとしており、アメリカ人を説得して、もっと多くのカネをウクライナに送ろうとしている。このこと全体が詐欺である、彼らのやるすべてと同じように。(ソース:「イギリスの資産がロシアで死んでいる」 <https://stateofthenation.co/?p=211536>)

次に注目すべきことは、ナワリヌイは、プーチン大統領によって指導されたロシア政府を覆すために目論まれた、多数の裏切りミッションを果たすために、賄賂とゆすりの両方を手広く行っていると、広く理解されていることだ。

3 番目に、ナワリヌイと交流した多くの情報プロから、明らかになったポイントは、彼はまた英米のエージェントの中でも、ひどくマインドコントロールされており、西側の主人のためには自分自身の死をも厭わないことがあることである。

簡単に言うと、ロシア社会においては、堂々と言う扇動にかけては、彼以上の先例もライバルもおらず、ロシア野党のリーダー、アレクセイ・ナワリヌイほど、白昼堂々と犯罪を行った者がいなかったということである。彼はその点で、全く臆することがないので、ロシアの通念的社会的すべては、母なるロシアに対する恥知らずの、卑劣な裏切り者としての彼を、痛いほどによく知っていた。

アレクセイ・ナワリヌイ：——西側の情報共同体によって支払われる、よくある連続犯罪者以外の何ものでもない。彼はロシア政府をどんな手段を

使っても覆そうとする。…これが彼を、社会にとって極端に危険な脅威とし、ロシア連邦への途方もなく鉄面皮な裏切り者とした。

<https://stateofthenation.co/?p=211676>

この正しい理解があれば、ナワリヌイが、西側の自分のハンドラーによって密かに暗殺されただけだということは、驚くに当たらないであろう。暗殺者はロシアの最北で、国事犯と証明された多数の犯罪で、彼が収監されている最高に安全な刑務所に、アクセスしたのである。

もちろん、プーチンのロシアに対して実行される、グローバルな心理戦に関する場合、いつも同じだが、この暗殺は狡猾に、プーチン-タッカー・インタビューが行われて、まだ日の浅いうちに実行された。インタビューは2月8日夕刻だった。筋金入りのネオコン戦争屋どもは、あのインタビューに対して、反プーチン報復戦争を決して止めないだろう。それはすでに、2億300万回の視聴を得ている。

プーチンの敵どもが、彼の急速に成長しつつある、ロシア連邦の偉大な指導者という評判に、大打撃を与えるための最上の方法は、この「*ロシア野党の指導者、法律家、反腐败活動家にして政治犯*」という見栄えのいいプロフィールを、選ぶことだった。…この男こそ、狂信的なロシア嫌いである、シオニスト・アングロ・アメリカン枢軸が選んだ、よく名前の囁かれるロシアの未来のホープであった

そこで、この度、ミュンヘン安保会議が開かれることになり、ナワリヌイの妻がそこで発言することになった。いやまったく、よく、世界の注目する国際会議が、この「**ショッキング**」な死が起こると同時に、開催されるものだ…!? ユーリ・ナワリヌイは、特別の機会さえ提供されて、大勢のロシア嫌いの出席者の見つめる中で、予想通りの、よく文章の整った、ロシアへの脅迫原稿を読み上げることになっている。

さらには、ロシア-ウクライナ戦争と呼ばれる、キエフの汚いクラスター弾戦争がある。これは、ウクライナ軍が戦場で次々と戦った後、一つの巨大な敗北として残ることになった。世界中の客観的な戦争オブザーバーは、絶えず、ウクライナ軍の犯した戦争犯罪の恐ろしさの程度に、絶句している。それは、ロシア領土の人民地区へのテロリスト攻撃でもあり、モスクワ自体への攻撃でさえある。

この特別のコンテキストからして明らかになったことは、英米のご主人と緊密に癒着したゼレンスキーのナチ政権が、彼らの大きな戦時敗北への気晴らしとして、喜んでナワリヌイ暗殺を引き受けただろうということである。このような、プーチンによる「**と言われる**」殺人は、また、絶望的戦争努力をもっと支持せよという、太鼓の音に利用されるだろう。

あるインサイダーたちによると、これは、高度に予定された、無数のウクライナ兵士のジェノサイドである。

キーポイント：「なんてこった!!! まるでイギリス王かアメリカ大統領が、暗殺されたかのようではないか…」

<https://stateofthenation.co/?p=211568>

結論：非常に強力な状況証拠が、ナワリヌイは、彼の刑務所に近づいた、西側のハンドラーによって暗殺された可能性が、非常に高いことを示している。

お勧めの参考資料：「ナワリヌイは、更に別の、CIA に指令されたロシアのカラー革命に、資金を提供したとして現行犯で逮捕された」

<https://gab.com/Gruvedawg/posts/111943050703819665>

[訳者 Greatchain 注]

訳者の願いは、この翻訳校が一人でも多くの人々の目に留まり、これ以上無意味な殺戮と破壊に歯止めがかかることである。あるニュースキャスターは、「ウクライナのこの軍事行動は続けるより方法がない」と言っていた。これは非常に気懸りなことである。